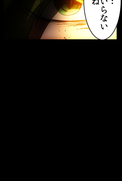
NANBAKA
FUTAMATA YTO

第33話 死ぬために生きる

熱くない

とことんふざけた身体にしやがって…!!



炎を…
斬った…!?
何だ…あの腕は
コイツは
一体…
データは取れた
もうお前に用はない

完全な化物

今っ…わかった

俺だけの『熱』

クク：

俺の死ぬ道も生きる道も

クククク：

ちょ…ちょっ…
俺はどうしたら…

コイツが決めるのか

ヒトの道なんか
俺には必要ない

俺はこの『熱』を一生背負う

だったらオマエは
全てを焼き尽くすだけ

化物として

だったらオマエは
死ぬまで焼き尽くすのか

生きて：生きて
生き抜いてやる

そして奴らの全てを
情け容赦なく
焼き尽くしてやる

消し炭になるまで

まあ
こんな炭と
あっぱれ

あれは…
焼かれた…
焼ったのは

お前だけがなぜ
焼かれるのか
わかるだろう？

ジューゴ

まさか…
奴らと俺と同じ

この熱を
持ってたってのか

そうだ
あれは間違いなく
奴らは同じく
それ以上のものかも
しれねえ

こんなモノが
2つもあるってのか：

ふざけやがって：!!

俺がなんで
焼かれたのか
わかったような気がする

畜生‥

畜生‥!!

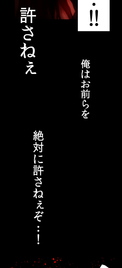
畜生‥!

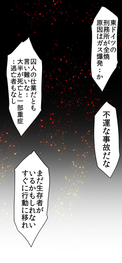
畜生‥!!

俺はお前らを

許さねぇ

絶対に許さねぇぞ‥!





俺は何のために生きているのか

ずっとわからなかった

『ヒト』でもなければ『ヒト』にもなれない

ああ：わかったよ お前があの男の何を知っているか

お前はヤツの『力』を知っている

当たり

奴は俺の炎を斬り裂いた

ヤツとお前の持つその『武器』は普通のとは違う 特別なもんだ

だがもし俺が奴と同じモンを手に入れたらどうなると思う？

俺の『力』と奴の『武器』を使えば俺は今度こそ奴を殺せるかもしれねぇだろ？

単純な計算だな

それで本当に奴らを殺せると思ってんのか？

でも可能性はある

俺は少しでもその可能性に命を賭けたっていいと思ってるんだよ

奴らだけは許さねぇ

必ず殺す

それだけが俺の生きる全てだ

奴らを殺すことができるなら俺は喜んで死刑台に上ってやるよ

To Be Continued...